

## ● シミュレーター体験しました！ 2020.10.26

こんにちは。研修医 1 年目の佐藤です。今週マッチング結果が発表され、当院はなんとフルマッチでした！ 来年から一緒に研修できるのを楽しみにしています。

さて、タイトルにある通り、先日脳外科の血管内治療シミュレーターと腹腔鏡の練習用シミュレーターを体験しました。普段触ることのできない血栓回収療法(カテーテルを大腿動脈から脳の血管内へ進めて、血栓を回収し、閉塞した脳血管を再開通させる)のシミュレーターを扱わせていただいた貴重な機会でした。

右の写真にあるように、透視を見ながら目的の血管へカテーテルを進めていきます。(実際には透視は出ていません。出ている風の画面です。)

写真では伝わりませんが、手でカテーテルを進めていくと、画面上でもカテーテルが進んでいきます。脳外科の先生に隣で御指導していただきながら、練習しました。簡単そうに見えるかもしれませんが、なかなか目的の血管に進まず、難しいんですよ。



また、腹腔鏡手技の練習用シミュレーターも新しく医局に設置されました。研修医室にも腹腔鏡のドライボックスがありますが、これはモニターが付いていてカメラを動かすことができたり、録画等のいろいろな機能がついていたりするため、より本物に近いものになっています。

私は今月から外科ローテーション中で腹腔鏡のカメラを持たせてもらうことが多いので、これでカメラの練習をしようと思っています。結紮の練習もしていますが、自分の思い通りに動かすことができずとても難しいです。医局の外科の先生方の机の隣に置いてありますが、空いていれば研修医でも自由に使うことができます。分からないことがあればすぐに近くの先生に質問することができたり、通りすがりの先生が御指導してくださったり応援したりしてくださいます。



もちろんシミュレーターなので実際に患者さんに行うのとは違うと思いますが、器具の扱い方や手順を学ぶには勉強になります。シミュレーターは個人で簡単に購入できるものではないので、このような機会があるのはありがたいです。手技の練習ができる環境が整っていることも当院の魅力ではないでしょうか。